

かさまつ

青少年育成町民会議だより

はじめてみませんか…

地域のふれあい



松枝小学校 あいさつ隊



松枝小学校の六年生を中心に活動している「あいさつ隊」。

平成18年10月、「地域とのかかわりをつくろう」と発足。ボランティアで自主的に続けられています。

小学校のまわりだけでなく、校区内のポイント地点に立ち地域の人や登校する友だちに元気な声で「おはようございます。」と声をかけます。

先にあいさつをするほうも、返すほうも、思わず笑顔。一日の始まりを気持ちよく過ごすことができます。

卒業しても、小学生や地域の人たちに自分からすすんであいさつできる、そんな中学生になってくれたら素敵なことだと思いますか。

三世代ふれあひ活動

地域活動部会

地域活動部会では、青少年の健全育成や地域の活性化を推進するために、町内育成員を中心に特色ある活動を通して、子どもからお年寄りまでがともに交流する三世代ふれあひ活動を進めています。



▲泉町「三世代ふれあひ活動」



▲春日・東陽・常盤町「三世代ふれあひもちつき大会」



▲宮川町「三世代ふれあひもちつき大会」

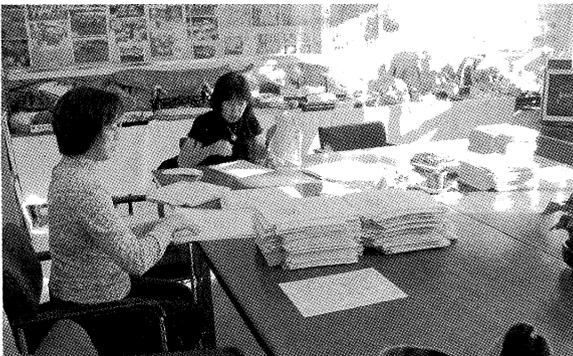


▲中門間「夏祭り納涼大会」

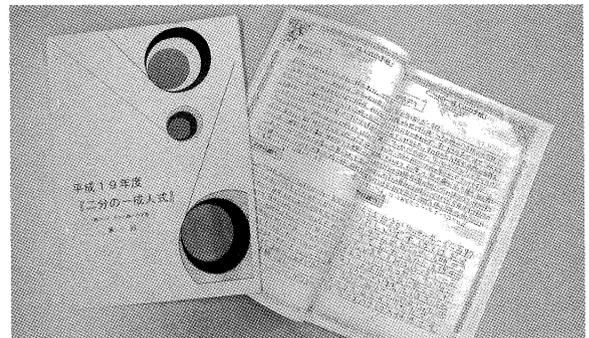
家庭部会

二分の一成人式

～親から子へ・子から親への手紙～



▲製本作業の様子



▲「二分の一成人式」の冊子

家庭部会では、親子の絆を深め合う取り組みとして、今年10歳を迎える児童とその親が互いに手紙を送りあう「二分の一成人式」を行いました。

思いがけないたくさんの賛同と心温まる手紙が寄せられ、「第一回二分の一成人式」の文集を発行しました。

少年の主張大会

中央公民館
H.19.6.10

青少年教育部会

(敬称略)

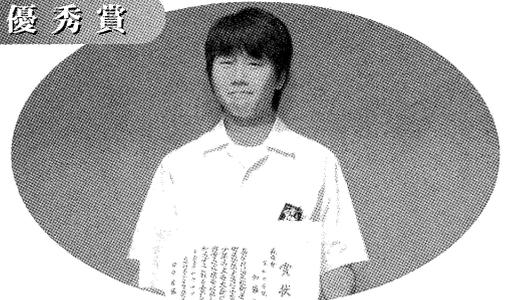
最優秀賞に選ばれた下記の2名の方は、
県大会出場者選考委員会に推薦されました。
おめでとうございます。

優秀賞 小学生



小川 翔耀 山根 拓巳 藤井 淳俊
西松 芽以 伊藤 優香 木島 麻並

最優秀賞



加藤 雅隆

優秀賞 中学生



市川 雄也 千村 舞衣 伊藤 汐里

最優秀賞



宮田 真那依

非行対策部会

街頭啓発活動

青少年により環境を

7月1日(日) 青少年非行防止活動として「笠松駅」
「本町通り」「ユースストア(米野)」「トミダヤ(長池)」にて
ティッシュや生花を配りました。



▲公民館前にて出発式



▲本町通りでの啓発活動風景



▲トミダヤ(長池)での啓発活動風景



▲ユースストア(米野)での啓発活動風景

青少年の作文 テーマ「家庭・学校・地域」

町の審査結果で、下記のとおり選ばれました。おめでとうございます。(敬称略)

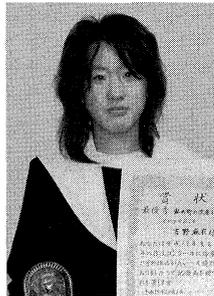
最優秀賞



笠松小 3年 水野 耕輔



下羽栗小 6年 安田 百花



笠松中 2年 吉野 麻衣

優秀賞

笠松小 5年 関谷真生子

松枝小 1年 岡松 真胡

松枝小 2年 鷺見 帆香

松枝小 4年 星山 潤弥

下羽栗小 3年 三島由莉乃

青少年健全育成講演会を開催しました

日 時 平成19年11月21日 (水) 午後7時30分

テーマ『青少年の問題行動あれこれ』

講 師 岐阜振興局青少年担当 藤澤 尚樹氏

最近の非行問題の現状や、我々がどう関わって取り組めばよいのかについてご指導いただきました。



編集後記

食育という言葉が声高に称えられるようになったと思ったら、食の偽装、安全不安、食をめぐる全く真逆の色々なことが次々と話題になったり、明るみに出た一年でした。

飽食といわれて久しい日本。食べ物は捨てるほどあるのに、食べるときは一人きりの個食、選んで食べられるからこそできてしまう偏食、メタボリック、肥満、過激なダイエットなど…。

私たち人間は、肉であれ、魚であれ、野菜であれ、「命」以外のものを口にすることはできません。「命」をいただくことで自らの命を存する。食本来の在り方や感謝の心を子どもたちにきちんと伝えようとするにはあまりにお粗末な現状ではあります。毎日少なくとも三回、その機会はあるはず。

命の源について考える、実は一番大切なことを忘れていたのではないのでしょうか。

(シユウ)